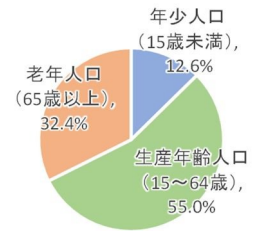


	世帯数	人 口	年齢別人口
現 在	427 世帯	1,085 人	15 歳未満 (年少人口) 137 人
			15~64 歳 (生産年齢人口) 597 人
			65 歳以上 (老年人口) 352 人
約 50 年前	198 世帯	872 人	



**歴史等**

西治下代ノ下モ遺跡では、弥生時代後期の竪穴住居跡や製塩土器、甑などの土器が出土し、中世の掘立柱建物跡も見つかっています。また、周囲には古墳時代後期と考えられる古墳が点在しており、この地域に古くから人々が住み続けていた様子がうかがえます。

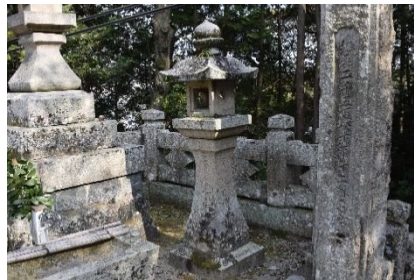
古代律令制では播磨国神前郡高岡里、中世は高岡荘に含まれたと考えられます。古くは「再地」といい、中世の広峰文書には「サイチ」と記されています。近世は豊臣氏の領地となった後、慶長5年(1600)からは姫路藩領となり、大庄屋組は山崎組に属しました。寛永年間(1624~1644)に当村から西谷村を分村したと伝わります。寛延3年(1750)の西治村明細帳によると、家数は105軒・人数は456人でした。

明治8年(1875)に西谷村を合併し、明治22年(1889)に福崎村の大字となりました。『兵庫県播磨国地種便覧』によると、明治14年(1881)の戸数は159戸・人口は697人でした。なお、観音寺は、井上通泰の菩提寺でもあり、境内には通泰の詠んだ懐郷の歌碑が置かれています。

昭和30年(1955)頃から始まる高度経済成長のなかで工場誘致が進められ、西治には福崎工業団地と福崎企業団地が整備されてきました。



八幡神社



石燈籠・寛保3年造立(八幡神社)



鐘楼堂(八幡神社)



秋祭り・屋台



路傍地藏



西治村明細帳

※現在の人口・世帯数・年齢別人口は令和4年5月末時点、10年間の人口・世帯数の推移は各年5月末時点、約50年前の人口・世帯数は昭和52年6月末時点であり、いずれも住民基本台帳による値です。なお、年齢別人口のみ外国人を含む値になっています。

## 歴史文化遺産一覧

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
建築物	1	八幡神社鐘楼堂	文政11年 (1827) 再建	西治区内で最古の建築物と思われる。築後約200年。梵鐘は残念ながら太平洋戦争で供出されたと推測する。神社の鐘楼堂として現存する珍しい建築物である。				●		
	石造物	2	地藏菩薩坐像(観音寺)	寛延元年 (1748)	地藏菩薩の石仏。台座正面には施主、右には願主、左には造立年月日が記されている。像高約38cm。				●	
3		六地藏(西治路傍)	明和2年 (1765)	六地藏の石仏。山野路傍に散在する地藏・石仏を字後家屋敷に存置したもの。うち1基の正面には像容と「題目 念仏」と記され、別の1基の正面には像容と造立年月が記されている。				●		
4		題目塔(西治鉄道西墓地)	享保15年 (1730)	正面には「南無妙法蓮華経日蓮大菩薩」、背面には造立年月日等が記されている。				●		
5		題目塔(西治路傍)	寛保2年 (1742)	正面には「南無妙法蓮華経法界万霊」、右には本願人の名、左には願主の名、背面には造立年月日が記されている。				●		
6		題目塔(蓮華寺)	宝暦11年 (1761)	正面には「南無妙法蓮華経法界万霊」、右には造立年月日等、左には本願人の名が記されている。				●		
7		一字一石塔(西治路傍)	大正10年 (1921)	正面には「南無妙法蓮華経」、右に「日蓮上人降誕七百 記念浄業一字一石」、左に「一天四海皆帰妙法 未法万年広宣流布」、背面には造立年月日等が記されている。				●		
8		題目供養塔(朝日堂)	寛政4年 (1792)	正面には「南無妙法蓮華経 題目二万部 妙法二千部 供養塔」、右に「天下恭平五穀成就」、左に願主等、背面には造立年月日が記されている。				●		
9		題目供養塔(蓮華寺)	寛政8年 (1796)	上層塔身の正面には「題目一千部供養塔」と記され、基壇の正面に造立年月日等が記されている。				●		
10		庚申塔(観音寺)	不明	庚申塔。正面には梵字と「庚申塔」の文字が記されている。				●		
11		石灯籠(西治鉄道西墓地)	享保15年 (1730)	石灯籠。正面には「奉納石塔場神西郡西治村久徳」、背面には造立年月日が記されている。				●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
建造物 石造物	12	石灯笼（八幡神社）	寛保3年 (1743)	石灯笼。正面には「奉寄進大歳大明神御宝前」、右に造立年月日、左に施主、背面に「此灯笼為油代分米 九升」などの文字が記されている。				●		
	13	石灯笼（西治路傍）	明治37年 (1904)	石灯笼。正面には「奉献 八幡神社」、右に造立年月、背面に「征露記念灯」と記され、基礎の左に奉献者、背面に石工が記されている。				●		
	14	石灯笼（蓮華寺前）	明治45年 (1912)	石灯笼。正面には「奉献 八幡神社」、背面には造立年月が記されている。				●		
	15	石灯笼（八幡神社）	大正10年 (1921)	左右一対の石灯笼。左右ともに正面に「奉灯」、背面に造立年月が記され、台石の左には寄付者が記されている。				●		
	16	石灯笼（西治路傍）	大正14年 (1925)	石灯笼。正面には「献灯 當村有志中」、右に造立年月、左に発起人が記されている。				●		
	17	石灯笼（八幡神社）	昭和2年 (1927)	左右一対の石灯笼。左右ともに正面に「献灯」、背面に造立年月が記され、右灯笼の台石の正面には「戦捷記念」、基礎の正面には「在郷軍人」、左灯笼の台石の正面には「御成婚記念」、基礎の正面には「青年団」と記されている。				●		
	18	石灯笼（西治路傍）	昭和29年 (1954)	石灯笼。正面には「献灯 當村有志中」、左に造立年月、背面に世話人が記されている。				●		
	19	手水石（西治鉄道西墓地）	享保14年 (1729)	手水石。正面に「奉納石塔場 西治村 重堅」、右に造立年、左に造立月日が記されている。				●		
	20	手水石（八幡神社）	天明7年 (1787)	手水石。正面に「八幡宮」、右に「若連中」、左に造立年月が記されている。				●		
	21	玉垣（八幡神社）	大正12年 (1923)	玉垣。「姫路水力電気株式会社」と記されている。		●		●		
	22	花筒（西治鉄道西墓地）	寛保元年 (1741)	花筒（花立）。正面に「石塔場 西治村 久徳」、背面に造立年月が記されている。2つあり（1対）。				●		
	23	花筒（蓮華寺入口）	宝暦12年 (1762)	花筒（花立）。正面に造立年月日が記されている。				●		
	24	線香立（西治鉄道西墓地）	寛保元年 (1741)	線香立。右に「石塔場」、左に「西治村 久徳」、背面に造立年月が記されている。笠右側割れあり。				●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
建造物 石造物	25	高原貞治頌徳碑	昭和45年 (1970)	顕彰碑(頌徳碑)。正面には「勲口等 為高原貞治氏 千載不朽 兵庫県知 事金井元彦書」と記されている。(高 原貞治)				●		
	26	鳥居・玉垣・屋根替 竣功記念碑(八幡神 社)	大正12年 (1923)	鳥居・玉垣・屋根替の竣功を記念し て建てられた石碑。				●		
	27	広場開拓記念碑(八 幡神社前)	昭和2年 (1927)	広場開拓を記念して建てられた石 碑。				●		
	28	井上通泰歌碑(観音 寺)	昭和40年 (1965)	文学碑。幼年時を送った鈴ノ森神社 をしのんだ歌碑。正面:「うぶすなの 杜のやまもゝふる里は はかなきこ ともこひしかりけり 通泰」。柳田 國男の実兄である井上通泰は、医師 のかたわら、万葉集、播磨国風土記 の研究、歌の指導に貢献した。観音 寺は井上家の菩提寺である。	●			●		
	29	五輪塔(観音寺墓 地)	不明	五輪塔。				●		
	30	石室(西治鉄道西墓 地)	不明	石室。				●		
	31	道標(西治プラント 構内)	不明	道標。正面には観音の像容とともに 「右 つねや」と記されている。				●	●	
	32	石標(蓮華寺)	宝永4年 (1707)	石標。正面には「開山 日順聖人」、 背面に造立年月日等が記されてい る。				●		
	33	百度石(八幡神社)	昭和2年 (1927)	百度石。				●		
	34	墓碑(円光寺墓地)	寛文10年 (1670)	墓碑。正面には造立年月とともに「南 無妙法蓮華経悲母覚心院妙宗灵位」 などの文字が記されている。				●		
	35	墓碑(観音寺墓地)	延宝4年 (1676)	墓碑。正面には造立年月日とともに 種子と「□□□遠忌□□□」の文字 が記されている。				●		
	36	墓碑(観音寺墓地)	延宝5年 (1677)	墓碑。正面には造立年月日とともに 梵字と「為妙善信女□□生□□□也」 の文字が記されている。				●		
	37	墓碑(観音寺墓地)	延宝年間 (1673~ 1681)	墓碑。正面には造立年月日(数字が 判読できない)とともに種子と「□ □□五廻忌菩提也」の文字が記され ている。				●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき



分類	名称		年代	概要	歴史文化ものがたり					
					①	②	③	④	⑤	⑥
建造物 石造物	38	墓碑（観音寺墓地）	天和元年 (1681)	墓碑。正面には造立年月日とともに梵字と「観空了妙信士」の文字が記されている。				●		
	39	墓碑（観音寺墓地）	天和2年 (1682)	墓碑。正面には造立年月日とともに梵字と「感覚道観信士霊位」などの文字が記されている。				●		
	40	墓碑（西治鉄道西墓地）	元禄5年 (1692)	墓碑。正面には「妙法 夏月法円 春性妙仁 各霊」の文字が記されている。				●		
	41	墓碑（円光寺墓地）	元禄7年 (1694)	墓碑。左右に造立年月日等が記され、右には「妙法 月覚院宗春日交 覚了院妙春日義」の文字が記されている。				●		
	42	水野日寅之墳	明治12年 (1879)	寺子屋師匠墓碑。正面には「水野日寅之墳」と記されている。	●			●		
	43	山下先生墓	明治41年 (1908)	裁縫師匠墓碑。正面には「山下先生墓」と記されている。	●			●		
美術工芸品 絵画	44	十二支図（八幡神社）	文政元年 (1818)	画家は「望旭軒玉可」とあり、奉納者は不明。内陣に奉納。巳図なし11面。54×36 cm。	●			●		
	45	赤穂義士討入の図（八幡神社）	昭和14年 (1939)	奉納者は「牛尾節次外14名」とある。武運長久。102×182 cm。	●			●		
	46	伊賀越道中双六図（八幡神社）	不明	奉納者12名。118.5×181 cm。	●			●		
	47	二見ヶ浦図（八幡神社）	昭和19年 (1944)	奉納者は「氏子 46才亥年男」とある。56.5×71.5 cm。	●			●		
	48	安宅の関図（八幡神社）	弘化4年 (1847)	奉納者は「当村氏子中」とある。119.5×182 cm。	●			●		
	49	一の谷合戦図（八幡神社）	明治6年 (1873)	奉納者は「願主当村氏子 尾上弥三八」とある。121.5×181 cm。平成26年(2014)12月修復。	●			●		
	50	四十七士肖像図（八幡神社）	不明	奉納者47名。47面あったが、1面のみ現存。41.5×32.5 cm。	●			●		
	51	松樹図（八幡神社）	明治36年 (1903)	画家は「藤本煙津」、奉納者は「尚武青年会解散記念委員尾上・宇野・浮田3名」とある。96×150 cm。	●			●		
	52	弓奉納額（八幡神社）	嘉永元年 (1848)	奉納者は「岩波岩五郎 行歳20才」とある。弓は221 cm、額は37×80 cm。	●			●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり							
				①	②	③	④	⑤	⑥		
美術工芸品	絵画	53	賤ヶ岳七本槍図(八幡神社)	文久元年(1861)	画家は「松齊鶴鳳謹写」、奉納者は「氏子中 西治村」とある。加藤清正・福島正則・加藤嘉明・片桐且元・平野長泰・脇坂安治・糟屋武則の七人の武将。105.5×162.5 cm。	●			●		
		54	熊谷直実と平敦盛図(八幡神社)	文久元年(1861)	画家は「松齊鶴鳳謹生」、奉納者は「当村氏子中」とある。88.5×118 cm。	●			●		
		55	義経千本桜図(八幡神社)	慶応2年(1866)	画家は「野邑株泉」とあり、奉納者は不明。119×183.5 cm。	●			●		
		56	神功皇后と武内宿禰図(八幡神社)	大正元年(1912)	奉納者は「当村氏子 牛尾正恵」とある。押絵。43.5×59.5 cm。	●			●		
		57	鶴と松樹図(八幡神社)	大正9年(1920)	奉納者は不明。押絵。55×40.5 cm。	●			●		
		58	相撲図(八幡神社)	不明	奉納者は「牛尾□」とある。67×91 cm。	●			●		
		59	源義経と天狗図(八幡神社)	不明	奉納者は不明。61×76 cm。	●			●		
		60	桃持猿(八幡神社)	不明	奉納者は「申歳女」とある。22.5×30.5 cmの小絵馬。	●			●		
		61	和歌額(八幡神社)	不明	奉納者は「巳年女」とある。82×36 cm。	●			●		
		62	十二支図(巳)(八幡神社)	不明	奉納者は不明。16×19.5 cmの小絵馬。	●			●		
63	羽子板絵馬(八幡神社)	不明	奉納者は不明。3枚。	●			●				
書跡・典籍・古文書・歴史資料	64	八幡神社弊殿新築祝詞殿改築棟札	大正元年(1912)	西治区蔵。法量不明。八幡神社の棟札。大正元年(1912)に八幡神社が新築され、祝詞殿が改築されたことが分かる。				●			
	65	金比羅宮奉二夜三日祈祷武運長久守護処棟札	昭和14年(1939)	昭和14年(1939)。総高96.8×17.6、厚さ2.0。武運長久を願い、二夜三日かけて祈祷されたことを示す。				●			
	66	西治区有文書	—	1,441件(点数不明)。		●					
有形の民俗文化財	祭具	67	屋台(西治区)	—	神輿屋根型屋台。鏡天井は、朱雀、青龍、玄武、白虎の四神が描かれている珍しいものである。				●	●	

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり							
				①	②	③	④	⑤	⑥		
無形の民俗文化財 年中行事・民俗芸能	68	秋祭り（福崎）	—	福崎地区・高岡地区の屋台 13 台（布団屋根型 6 台、神輿屋根型 7 台）が二之宮神社に集まる。本宮では、宮元である山崎屋台が 12 台の屋台を JR 福崎駅前へ迎えに行き、福崎駅前 で屋台が練り上げられた後、二之宮神社に宮入りする。拝殿で神事が行われ、五穀豊穡が祈願された後、宮出しが行われる。山崎の木方による合図で一斉に屋台が動きだし、練り合わせを行う「13 台サラバ練り」は見どころである。			●	●		●	
	69	トンド	—	1 月 14 日に各隣保で行われる。				●			
	70	斎灯	—	2 月 3 日に八幡神社で行われる。				●			
	71	七夕祭	—	7 月 8 日に公民館で、子ども会と老人会が中心に行われる。				●			
	72	盆祭り	—	8 月 12 日にさるびあドームで行われる。				●			
	73	厄神祭（厄神さん）	—	1 月に八幡神社で行われる。				●			
遺跡	古墳・その他の墓	74	三昧谷 1 号墳	古墳時代	古墳時代の円墳。石室は竪穴式と思われる、須恵器を出土している。		●				
		75	三昧谷 2 号墳	古墳時代	古墳時代の円墳。石室は竪穴式と思われる。		●				
		76	三昧谷 3 号墳	古墳時代	古墳時代の古墳。詳細不明。		●				
		77	西治数可ノ古墳	古墳時代	消滅。古墳時代の木棺直葬の円墳（直径 6m）であったと思われるが現存しない。紡錘車形石製品、土錘、管玉、須恵器、切子玉を出土している。		●				
		78	五郎ヶ谷古墳	古墳時代	古墳時代の円墳（直径 20m）。須恵器、土師器を出土したとされるが、現在は確認できない。		●				
		79	円光寺山古墳	古墳時代	古墳時代の円墳。		●				
散布地・集落跡・生産遺跡等	80	宮ノ前遺跡	弥生時代～中世	遺跡内には旧河道が存在する。弥生時代後期の竪穴住居跡、奈良時代から鎌倉時代にかけてのピット（小さな穴）、土坑、溝、落ち込みも確認されており、瓦葺き建物があった可能性を示唆する瓦や、稜椀と中国製の輸入陶磁器も出土している。		●					

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
遺跡	散布地・集 落跡・生産 遺跡等	81	西治二反田遺跡	古墳時代	上層からは須恵器の杯、甕、輸入磁器（青磁）、下層からは古墳時代（6世紀後半頃と思われる）の須恵器の杯身、さらにその下層から壺、甕、高杯と考えられる遺物が出土している。弥生時代から中世にかけての遺物が出土している。					
		82	西治数叶ノ西遺跡	中世	幅約 1m弱の溝から中世の土師器の皿・須恵器の山茶碗と思われる遺物と少量の炭が検出され、集落の形成若しくは人為的活動が周辺で行われていた可能性がある。					
		83	西治下代ノ下モ遺跡	弥生時代後期～中世	弥生時代後期から中世にかけての集落遺跡。竪穴住居 5 棟や祭祀に使用されたと考えられる遺跡のほか、製塩土器や甑などの土器が出土している。北部からは、中世の掘立柱建物跡も見つかっている。					
	街道・古道等	84	北条街道	—	三木から宍粟に通じる因幡街道の道筋上にあたる東西の主要街道。絵図や柳田國男の『故郷七十年』などから当時の様子を知ることができる。					
		85	旧神西郡の南北道	—	市川右岸を通る。江戸時代には、本道である生野街道ではなく神西郡を通る道筋も頻繁に利用され、役人等の通行時の休泊や諸費用の継立で難渋したため、本道を通るよう嘆願書も提出されている。					
名勝地	河川・滝	86	市川	—	下流域は川幅が広く、砂州や後背水域など多様な環境が形成され、河川自然植生の多様性が高く、魚類の在来種も多いことから、兵庫県レッドリスト（B）に掲載されている。また、月見橋下流右岸と神崎橋下流左岸は、ミクリ・ナガエミクリが生育する川辺植物群落として兵庫県レッドリスト（C）に掲載されている。					
動物・植物・地質鉱物	植物	87	八幡神社の森	—	八幡神社境内に位置する。「コジイ群落」として兵庫県レッドリスト（C）に掲載されている。 【町指定保存樹】					

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき



分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
その他	信仰の場	88	八幡神社	—				●		
		89	蓮華寺	—				●		
		90	観音寺	—				●		
		91	願満大黒殿	—				●		
	寺社の行事	92	彼岸会（春）・施餓鬼供養	—				●		
		93	盂蘭盆会（施餓鬼法要）	—				●		
		94	地藏祭	—				●		
		95	彼岸会（秋）・施餓鬼供養	—				●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

## 歴史文化遺産の保存・活用の取組等

- ・八幡神社(厄除祭)は神社総代(3人)と自治会役員が連携して実施しています。
- ・八幡神社の本殿等の改修工事に取り組み、令和2年12月に改修工事が完了しました。工事にあたっては、神社改修だよりで工事の状況を住民に周知し、旧木駄橋(祝詞殿から本殿への階段)の材を活用して本殿改修竣工記念札(幅4.5cm×高さ15cm)を作成して希望者に配布しました。
- ・八幡神社(鐘楼堂)は建築設計事務所と連携し、劣化を防ぎ後世に継承するための補強工事に向けた検討をしています。
- ・西治区に伝わる祭りの伝承のため、西治祭り保存会や西治太鼓保存会などを組織しています。また、屋台新調委員会や祭り保存会などの関係団体との連携して、秋祭りを継承・発展させるため屋台新調と人手・人材確保に努めています。



改修された八幡神社本殿



拝殿前石段改修及び手すり設置



本殿改修竣工記念札